

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	双海地域公民館活動事業			会計区分	1	一般会計		所管部署	社会教育課																		
事業番号	4720-3			予算科目	10	款	5 項 2 目	教育費	シート入力	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度															
評価の種別	☒ 詳細評価 ☐ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	政策的事業【任意】 ☐ 重要事業				所属長名	岡市	小笠原	小笠原															
総合計画での位置づけ	基本目標	生涯学習都市の創造							担当責任者	堀内	伊予岡	伊予岡															
	基本施策	生涯にわたり学習できる環境づくり								出海	出海	武智															
根拠法令等	社会教育法、伊予市公民館設置条例、伊予市公民館管理規則																										
関係する計画等	伊予市教育大綱、伊予市社会教育基本方針																										
事業の目的【ゴール】	対象	双海地区の一般市民																									
目指すべき姿を簡潔に	意図	地域の特性を生かしながら、住民への学びの場を提供し、地域コミュニティの醸成を図る。																									
事業内容【アクティビティ】	生涯学習、成人教育、高齢者教室、青少年教育、家庭教育、地域コミュニティなどに関わる各種講座や事業を実施する。																										
具体的な内容、どのような方法で実施しているのか																											
事業の実施方法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金・負担金等 ☐ その他（ ）																										
連携事業及び関連事業の有無	☒ あり（以下に記載すること） ☐ なし			<table><tr><th>事業番号</th><th>事務事業の名称</th><th>事務事業の概要</th></tr><tr><td>4750</td><td>地区公民館運営活動助成事業費</td><td>各地区公民館運営委員会の活動に要する補助金</td></tr><tr><td>4760</td><td>一般事務費</td><td>公民館施設及び活動に必要な費用</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 【連携事業】 一体的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業									事業番号	事務事業の名称	事務事業の概要	4750	地区公民館運営活動助成事業費	各地区公民館運営委員会の活動に要する補助金	4760	一般事務費	公民館施設及び活動に必要な費用						
	事業番号	事務事業の名称	事務事業の概要																								
	4750	地区公民館運営活動助成事業費	各地区公民館運営委員会の活動に要する補助金																								
	4760	一般事務費	公民館施設及び活動に必要な費用																								
本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性	☐ ゴール 1	貧困をなくそう	☐ ゴール 7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	☐ ゴール 13	気候変動に具体的な対策を																					
	☐ ゴール 2	飢餓をゼロに	☐ ゴール 8	働きがいも経済成長も	☐ ゴール 14	海の豊かさを守ろう																					
	☐ ゴール 3	すべての人に健康と福祉を	☐ ゴール 9	産業と技術革新の基盤をつくろう	☐ ゴール 15	陸の豊かさを守ろう																					
	☒ ゴール 4	質の高い教育をみんなに	☐ ゴール 10	人や国の不平等をなくそう	☐ ゴール 16	平和と公正をすべての人に																					
	☐ ゴール 5	ジェンダー平等を実現しよう	☒ ゴール 11	住み続けられるまちづくりを	☐ ゴール 17	パートナーシップで目標を達成しよう																					
	☐ ゴール 6	安全な水とトイレを世界中に	☐ ゴール 12	つくる責任つかう責任																							

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断	少子高齢化や過疎化、新型コロナウイルス感染症による各事業の中止など、様々な要因により、各自治公民館での活動の縮小や各事業の参加者の減少が近年の課題となっている。	事業の内容や実施方法などを協議し、双海地区の現状に合わせた内容・規模で事業を実施する。	上灘・下灘市民体育祭は令和5年度より上灘・下灘ニュースポーツ大会に変更し、モルックを競技種目として実施している。市民体育祭時よりも少人数で運動強度も少ない種目であり、より多世代の方が参加されている。
現状維持			

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳								
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	節	細節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に	
予 算	当 初 予 算	2,962	2,968	2,834	2,510					R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R 7 要求	
	補 正 予 算						報償費	報償費	135	210	190	205	講師謝金	
	前年度から繰越						旅費		20	16	14	47	双海公通学合宿ボランティア旅費	
	予 備 費 等						需用費	消耗品費	2	10	0	10	公民館事業関係消耗品	
	計	2,962	2,968	2,834	2,510		役務費	通信運搬費	85	79	96	102	郵送料	
決 算	執 行 額	1,322	2,374	2,520			役務費	手数料	0	0	0	0		
	翌年度へ繰越						委託料		524	1,366	1,198	1,174	軽スポーツ大会委託料	
財 源 内 訳	国庫支出金						使用料及び賃借料		556	693	1,022	972	双海公ふれあいの館使用料	
	県 支 出 金													
	地 方 債													
	そ の 他													
	一 般 財 源	1,322	2,374	2,520	2,510									
	執行率（％）	44.6%	80.0%	88.9%										
当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）		44.6%	80.0%	88.9%										
正規職員の人工数		0.50	0.50	0.50										
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895		上記以外の事業費合計							一般事務費、上記で書き表せないもの	
※ 執行額＋人件費		5,219	6,257	6,468		事業費の総計			1,322	2,374	2,520	2,510		

事業活動の実績【アウトプット】

活動実績の達成度を測る指標				単位	目指す方向性	R 4	目標実績	R 5	目標実績	R 6	目標実績	達成度		令和 4 年度の振り返り	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り
活 動 指 標	指 標 ①	青少年教育		回	➡	20		20		20		かなり達成 (80%以上)		新型コロナウイルスの影響のため、各活動の自粛や中止を余儀なくされることが多く、以前のような回数や内容で公民館活動ができない場面が多い。	多くの事業でコロナ禍以前の規模や回数、内容で活動を再開できた。	令和5年度と同様に、予定してた事業を予定通り開催することができた。
	指 標 ②	成人教育		回	➡	11		21		47		かなり達成 (80%以上)				
						35		35		35		かなり達成 (80%以上)				
	指 標 ③	高齢者教室		回	➡	25		39		35		かなり達成 (80%以上)				
						5		5		5		かなり達成 (80%以上)	課題への改善提案	コロナ禍の中、できる範囲での事業実施に取り組んだものの、中止となったもの（双海地区公民館老人部視察研修、下灘地区公民館まつり等）もあったため、次年度以降開催に向けた協議が必要である。	新事業「下灘ニュースポーツ大会」が雨天中止となり、実施できなかった。雨天時でも体育館を利用するなど、天候に左右されない実施方法やプログラムを検討する必要がある。	少子高齢化に加え、コロナ禍も影響し、中止となっていた公民館事業がコロナ禍以前の規模や回数で実施することが少しずつ難しくなっている。新しい形や内容での開催の提案が必要となっている。
	指 標 ④	コミュニティ事業（体育事業・公民館まつり）		回	➡	3		6		6		かなり達成 (80%以上)				
						5		5		5		かなり達成 (80%以上)				
						4		5		6						

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果		活動成果の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R	4	目標実績	R	5	目標実績	R	6	目標実績	達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
	中期成果	住民の身近な学習拠点である公民館が核となり、地域住民のニーズに対応した学習の機会を提供する。	指標①	各種事業・学級の活動回数	回			65			65			65		かなり達成 (80%以上)	
								43			71			94			
			指標②														
			指標③														

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的の見直しが必要である	2	評価点ランク		B	事業遂行に係る工夫点・事業成果		
			市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある、又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である		2	A		9 ~ 10	開催内容等を変更した事業はあるものの、多くの事業でコロナ禍以前と同等の回数事業を実施できている。	
				サービス主体の妥当性			4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない		4		C
		D	3 ~ 4								
		有効性	成果指標の達成状況	4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成がでなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	3	評価点ランク			事業遂行に係る課題・改善点		
			成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない		3	S		11 ~ 12	A	少子高齢化や過疎化に加え、コロナ禍も影響し双海地域での公民館活動がこれまでと同規模や同じ内容での開催が難しくなっている部分がある。
				市民等への影響			4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない		3		
		C	5 ~ 6								
		D	3 ~ 4								
	効率性	手段の最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	2	評価点ランク		課題解決に向けた具体的な方策等				
		コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である		2	S	11 ~ 12	B	上灘・下灘市民体育祭から上灘・下灘ニュースポーツ大会に実施内容を変更したように、他の事業に関しても地域の状況や市民からのニーズに応じて随時協議を行い、事業を実施する。		
			受益の適正性			4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない、又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	3			A	9 ~ 10
	B	7 ~ 8									
	C	5 ~ 6									
	D	3 ~ 4									
	担当者										
	一次判定	自己判定結果の確定		☒ 上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します					所属長の所見		
貢献度		S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S	非常に高い	S	地域の特性を生かした公民館活動は、生涯学習の推進と地域コミュニティの維持に一定の効果を上げており、関係団体との連携による運営も定着している。今後は、社会的ニーズの変化を踏まえ、運営手法や住民参加のあり方を見直しつつ、持続可能な事業展開を図る必要がある。				
		A		高い							
		B		普通							
重要度		S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む		C	低い	S					
	D	非常に低い									
所属長											